

経済学部

I	教育水準	教育 16-2
II	質の向上度	教育 16-4

I 教育水準（分析項目ごとの水準及び判断理由）

1. 教育の実施体制

期待される水準を上回る

[判断理由]

「基本的組織の編成」については、62名の専任教員のうち57名が学位を有し、特任も含めて外国人教員が着実に増えているほか、国際的公募による任期付講師制度を導入したなどの優れた取組を行っていることから、期待される水準を上回ると判断される。

「教育内容、教育方法の改善に向けて取り組む体制」については、ファカルティ・ディベロップメント（FD）活動のほか、大人数講義の欠陥を補正するものとして21世紀COEプログラムの支援を受けたティーチング・アシスタント（TA）の活用が増大したなどの優れた取組を行っていることから、期待される水準を上回ると判断される。

以上の点について、経済学部の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、教育の実施体制は、経済学部が想定している関係者の「期待される水準を上回る」と判断される。

2. 教育内容

期待される水準にある

[判断理由]

「教育課程の編成」については、体系的に編成されているとともに、参加人数を25名程度に制限した少人数講義の取組も行っているなどの相応な取組を行っていることから、期待される水準にあると判断される。

「学生や社会からの要請への対応」については、実務経験者の講義を提供するとともに、金融分野での高度な専門能力を身につけた人材を育成するために金融学科を創設したなどの相応な取組を行っていることから、期待される水準にあると判断される。

以上の点について、経済学部の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、教育内容は、経済学部が想定している関係者の「期待される水準にある」と判断される。

3. 教育方法

期待される水準にある

[判断理由]

「授業形態の組合せと学習指導法の工夫」については、ティーチング・アシスタント (TA) の積極的活用のほか、ウェブサイトを通じた資料提供、英語授業の提供等を実施したなどの相応な取組を行っていることから、期待される水準にあると判断される。

「主体的な学習を促す取組」については、優秀な論文を表彰するために「特選論文」や「大内兵衛賞」を設置するなどの相応な取組を行っていることから、期待される水準にあると判断される。

以上の点について、経済学部の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、教育方法は、経済学部が想定している関係者の「期待される水準にある」と判断される。

4. 学業の成果

期待される水準にある

[判断理由]

「学生が身に付けた学力や資質・能力」については、優れた卒業論文に対して「特選論文」の規定を設けて選考し、毎年一定数の特選論文が選考されるなどの相応な成果があることから、期待される水準にあると判断される。

「学業の成果に関する学生の評価」については、アンケートの回収率が 30 パーセントとはいえ、学問的刺激を「一応は受けた」「受けた」とする学生のアンケート結果が出ているなどの相応な成果があることから、期待される水準にあると判断される。

以上の点について、経済学部の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、学業の成果は、経済学部が想定している関係者の「期待される水準にある」と判断される。

5. 進路・就職の状況

期待される水準にある

[判断理由]

「卒業（修了）後の進路の状況」については、外資系を含む主要企業への就職が良好であるほか、大学院への進学が 1～2 割を占めているなどの優れた成果があることから、期待される水準を上回ると判断される。

「関係者からの評価」については、継続的な求人状況や同窓会機関の寄稿内容から評価

が高いものと判断できる。また、寄付講座の受入れと民間金融機関等からの寄付が少なくないことは関係者からの評価が高いと推察されるなどの相応な成果があることから、期待される水準にあると判断される。

以上の点について、経済学部の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、進路・就職の状況は、経済学部が想定している関係者の「期待される水準にある」と判断される。

II 質の向上度

1. 質の向上度

大きく改善、向上している、または、高い質（水準）を維持している

当該組織から示された事例は2件であり、そのすべてが、「大きく改善、向上している、または、高い質（水準）を維持している」と判断された。